

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	平成 29 年度施工研究会現場研修	(CPD 番号 29- 3)
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部施工研究会	
日時	平成 29 年 9 月 22 日 (水) 13 : 00 ~ 16 : 00	
場所	押角トンネル工事現場 (宮古市和井内地区～岩泉町大川地区)	
参加人数等	8 人	

活 動 内 容

- 1 事業概要 岩泉土木センター 米川技師
- ・ 廃線となった J R 岩泉線の押角トンネルを道路トンネルとして拡幅整備する工事である。
 - ・ 施工延長 L=3,094m 幅員 W=6.0 (7.5)m
 - ・ 工期 H28. 3. 25～H30. 8. 13 早期完成を図るため両坑口より掘削
 - ・ 進捗状況 宮古側 788m 岩泉側 1008m
 - ・ 覆工コンクリート 宮古側 252m 岩泉側 336m
 - ・ 電力設備は、商用電源でなく発電発電機仕を使用(各坑口部 4 基使用)
 - ・ 岩質は、硬質の頁岩が主体。
 - ・ 地質構造的にも地層の走行が、トンネル軸方向に対し比較的に安定している。トンネル設計は C パターンが主となっている。



事業概要説明

- 2 現場見学 現場案内 津島 J V 工事事務所副所長
- 1) 岩泉側坑口から現場見学 (当日は、機器類の点検のため、掘削作業はなし)



岩泉側坑口



トンネル覆工センター



切羽写真 (空洞は既設 J R トンネル)

- ・ 既設鉄道トンネル覆工 (C o ブロック) 裏面には、空洞が多数確認され、一部は過去に補修した痕跡も認められた。

- 2) 岩泉側坑口から現場見学 (当日は、切羽付近でのサイド拡幅作業中)



岩泉側坑口



トンネル覆工センター



切羽付近サイド拡幅作業

- ・ 覆工コンクリート打設に既設生コンプラントからの供給が間に合わず、今後、現場に生コンプラントを設置し生コン供給をおこなう予定である。

[平井 記]